



## 読書のすすめ

校長 橋本 勇一

今年度も本校では親子読書週間を11月1日（火）から11月5日（土）まで実施いたします。

「子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年制定）」があり、その条文には「子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」と書かれています。また、「子どもの生活力に関する実態調査（平成27年、（独）国立青少年教育振興機構）」では、読書をする人が多い子供ほど、コミュニケーションスキルや礼儀・マナースキルが高い傾向にあるという報告があります。読書することは子供にとって、知識を得ることだけでなくとても重要です。

さて、全国学校図書館協議会と毎日新聞社が共同で、全国の小・中・高等学校の児童・生徒の読書状況について毎年調査を行っています。調査対象は全国の小学生（4～6年生）、中学生（1～3年生）、高校生（1～3年生）です。令和3年度の1か月の平均読書冊数は、小学生12.7冊、中学生5.3冊、高校生1.6冊でした。ちなみに平成3年度の1か月の平均読書冊数は小学生5.8冊、中学生1.9冊、高校生1.4冊でした。小学生に関しては平均読書冊数が約2.2倍、中学生は約2.8倍に増えました。これは素晴らしいことだと思います。気になることは、数値に表れているように上の学年になるに連れて平均読書量が減ってきていることです。

別のデータもあります。令和3年度の1か月に読んだ本が0冊（不読者）と答えた児童・生徒の割合です。小学生5.5%、中学生10.1%、高校生49.8%です。ちなみに平成3年度の児童・生徒の割合は小学生10.7%、中学生50.4%、高校生59.9%でした。不読者も少なくなってきましたが5.5%の小学生は本を読まないという結果になっています。

本を読まない理由として、テレビ・DVD・動画（You Tubeなど）を見るのに時間を使うという回答が多いですが、子供たちには今だからこそ読書の楽しさを味わって欲しいと思います。そして本に対する興味を増々深め、大人になっても読書好きであって欲しいと、切に願っています。

話は変わりますが、本校は来年度、110周年を迎えます。そのため来年度に向けて子供たちはいろいろな取組を行っていきます。今後、保護者の皆様にもご理解とご協力をいただく場面もあるかもしれません。その際にはどうぞよろしくお願い致します。

## 11月 行事予定

日	曜	行事等	放課後遊び
1	火	親子読書 始 タグラグビー教室 (4年)	
2	水		
3	木	文化の日	
4	金		4・5年
5	土	土曜授業日 親子読書 終 ファミリー遊び 日本文化の時間 校庭開放日 (13:00~16:00)	
6	日		
7	月	クラブ活動 安全指導日	
8	火		3・6年
9	水	4時間授業	
10	木	開校記念集会	
11	金		
12	土		
13	日		
14	月	開校記念日 避難訓練 委員会活動	
15	火	社会科見学 (6年) 開校記念週間 終	3・4年
16	水		
17	木	音楽朝会 副籍交流 (6-1)	5・6年
18	金	社会科見学 (3年)	
19	土		
20	日		
21	月		
22	火	FC東京出前授業 (3・4年)	
23	水	勤労感謝の日	
24	木	就学時検診 4時間授業	
25	金		
26	土		
27	日		
28	月	5時間授業	
29	火	5時間授業	
30	水	4時間授業 (6-2のみ5時間授業)	

## お知らせ

### \*避難訓練について\*

14日(月)にアラート(全国瞬時警報システム)が発令された際の行動の仕方についての訓練を行います。10月に一部地域で実際に発令されたばかりです。非常時に落ち着いて行動できるように訓練に取り組ませます。

### \*人権の日について\*

今年の人権の日は、30日(水)です。30日(水)の給食は、カナダのメープルトーストとサーモンのクリームシチューです。

### \*放課後遊びについて\*

3年生から6年生を対象に、放課後15:20まで行います。15:30閉門です。日程は、11月行事予定の欄から学年を確認してください。11月は合計4回行います。

### \*11月の校庭開放について\*

11月5日(土) 13:00~16:00

### \*親子読書について\*

全国読書週間に合わせて、親子読書に取り組めます。保護者の皆様と児童で、一緒に時間と空間を共有して読書をし、その中で読書の楽しみを味わい、読書習慣をつくるきっかけとなることを意図しています。

5日間、15分ほどご家庭で時間をつくっていただければと思います。

ご協力のほどよろしく願いいたします。

### 生活指導 11月の生活目標

#### 「力を合わせてやりぬこう」

#### 生活指導主幹 内藤 直美

後期が始まり、各学級で新しい当番活動や係活動などがスタートしたかと思います。学級の学びや生活を支える係活動、学級をより楽しく、充実させる取り組みとしての係活動の中で、友達と力を合わせて取り組んでいけるよう励まし、指導を進めていきたいと思っています。

また、10月31日より始まった開校記念週間では、各委員会が様々な企画を考え、全校で開校109周年をお祝いしようと活動を進めています。「節目」は、「力を合わせる」一つの良い機会だと考えます。学校皆で開校記念を祝い、開校110周年の節目に向け、力を合わせてやりぬく一ヶ月としていきます。

## 《学年の窓》

### 3年生について

3年1組担任 小鳥美那子

3年2組担任 高木 順一

3年3組担任 吉村 知紗

3年生になって新しく理科と社会の学習が始まりました。理科では身近な物事からきまりを見付けていく活動を行っています。ヒマワリやホウセンカなどの植物の特徴を調べたり、風やゴムで車を動かして現象を比べたりしていく中で法則に気付いていました。

社会科では東町や港区について調べています。生活の中からの気づきを挙げたり、資料の読み取り方を学習したりしています。

新しく始まった学習ですが、身の回りのものに改めて注目していく中で疑問を出し合ったり、興味をもって調べたりする活動を通して学ぶ力を身に付けていってほしいです。

2学期になり、学習にも慣れてきた児童が多く、理科「音」の単元では、子供たちから実験方法の案が出てくるようになりました。社会科「わたしたちのくらしとはたらく人」の単元を通して、家の近くのスーパーマーケットの様子などから、暮らしと関係付けて考えられる児童が多くなってきました。

今月は、11月18日（金）に社会科見学があります。体験を通して多くの知識を身に付け、今後の学習につなげていければと思います。

## 試そう 自分たちの表現

音楽専科 三島 雅

音楽の授業中、私は子供たちにこんな言葉をなげかけています。

「ちょっと皆の前で試してみない？」

そうすると、子供たちは様々な表情を見せながら、「1人ですか？」「友達とならできそう」「無理だよ」「どうしようかな」と口々に言います。私は、クラスの様子を見ながらすぐに笑顔で「1人で歌える人は？」「2人は？」「大勢なら？」と質問していきます。すると、数秒でやるかやらないかを決断し、前に出て歌うのです。

この時私が大切に考えていることは、子供たちが歌った後すぐに評価したり、アドバイスをしたりしないことです。前に出て歌うということは、“完成した発表”と思いがちですが、この“試してみる”ことに価値があると考えているからです。人前で自分の表現を“試してみる”ことで、“自分で工夫して歌ってみたけどこれで良かったか”友達の表現を見て聴いて“あの歌い方がいいな”“自分だったこう歌う”など試行錯誤しようとするのです。そしてこの時、前に出て歌っていない子供たちの表情は、真剣そのものです。自分ごととして友達の表現を見ています。この“試す”という学習のあとに再度歌ってみると、表現がガラッと変わることが多いのです。

“試す”“自分を振り返る”“また試す”ということを行き来しながら、「自分たちの表現」を見つけていけるようにしています。東町小の子供たちが“試してみてよかった”“友達の表現のここがいい”などと思えるような授業を日々目指しています。

## 来年は開校110周年です

副校長 北原 武宏

東町小学校が開校して、来年で110周年を迎えます。110年と簡単に言いますが、ここに至るまでに様々なことがあり、大正2年に「東町尋常小学校」として開校し、第二次世界大戦による校舎の全焼、児童数減少による統廃合の危機など、いくつもの危機的状況乗り越えてきました。伝統と歴史のある学校こそが「東町小学校」なのです。

さて、来年度が110周年ということは、今年は109周年なのですが、何も活動しないわけではありません。すでに、110周年に向けて様々な取り組みを行っています。まずは、「東町小キャラクター作り」子供たちにイラストを募集し、東町小学校のキャラクターを決定します。応募総数は、100点以上。どんなイラストが採用されるのでしょうか。お楽しみにしてください。さらに、5・6年生が活動している委員会では、それぞれの委員会が個性あふれる取り組みを行います。例えば、「〇〇ランキング」「〇〇クイズ」「〇〇紹介」など。10月31日（月）から11月15日（火）までにそれぞれの委員会が披露してくれます。こちらも楽しみです。

新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となっていた行事も少しずつ行えるようになってきました。伝統と歴史のある東町小学校は、伝統を引き継ぐために、そして新たな歴史を刻むために457人の児童とともに日々努力を重ねています。東町小学校の開校記念日は、11月14日（月）です。109周年を迎える東町小学校をこれからも温かく見守っていただきたいと思っております。

## 図工室から

図画工作専科 鈴木 友里恵

今年度の11月の図工はいつも以上に特別な日々が続いています。校内の様々なところに展覧会出品作品が並んでいます。地域の方々・給食をつくってくださる方々、講師の先生方からは校内のそういった風景をご覧いただき、『展覧会、もうすぐですね。楽しみです。』と温かいお言葉を掛けていただくことが増えてきました。

図工の時間の子供たちは最後の出展作品である立体作品に取り掛かっています。どの学年の児童も自然に友達をつくる様子を見合い、気付いたことを話し合いながら体全体を働かせて取り組むことができるようになりました。また、図工専科が『制作活動はあと5分』と声掛けすると、より集中して『足りないところを教えて。』とお互いに高め合う声掛けが目立ちます。児童一人一人に粘り強さと高い集中力が身に付き、主体的に学ぶ姿から成長を感じます。

1・2・3年生は初めて展覧会に臨むため、作品が完成する度に嬉しそうです。次に体験するとき子供たちは中学年と高学年になっています。『自分たちが高学年になったら、今つくっている（高学年の）作品はつくれますか？わたしも（ぼくも）つくりたい！』と3年後を見据えて話してくれます。上の学年の作品をよく鑑賞していて頼もしい限りです。

一方、4・5・6年生にとっては展覧会という行事を体験できるのが今年度限りです。特に5・6年生は4月から展覧会を意識し、学級で気持ちを高めてから図工室に来ている児童が多かったです。展覧会の会場設営や復元作業に高学年として大きな役割を担っています！そこでさらに高学年らしい姿・力を発揮してくれることを期待しています。

このように、各学年の児童が造形活動を頑張っている姿を見ると、様々な特別な感情が湧きあがります。制作中もふとした拍子に寂しくなったり、胸にくる瞬間に出会ったりします。12月まであと少しですが、子供たちにとって少しでも心に残る展覧会にしたいと考えておりますので、ぜひご観覧いただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

※11月にプログラムを配布予定ですので、ご覧ください。  
※図工の児童の様子は、学校の図工ブログをご覧ください。

→

